

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 13 日 (2020.8.13)

【公開番号】特開 2020-102464 (P2020-102464A)

【公開日】令和 2 年 7 月 2 日 (2020.7.2)

【年通号数】公開・登録公報 2020-026

【出願番号】特願 2020-66042 (P2020-66042)

【国際特許分類】

H 0 1 J 5/50 (2006.01)

H 0 1 J 61/86 (2006.01)

G 0 3 F 7/20 (2006.01)

【F I】

H 0 1 J 5/50 G

H 0 1 J 61/86

G 0 3 F 7/20 5 0 1

G 0 3 F 7/20 5 2 1

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 5 月 27 日 (2020.5.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光を発生させる発光部を内部に有するガラス部材と、前記ガラス部材の第 1 方向の一方の側に設けられる第 1 口金部材と、前記ガラス部材の第 1 方向の他方の側に設けられる第 2 口金部材とを備える放電ランプにおいて、

前記第 1 口金部材は、

前記第 1 方向に延びる第 1 軸部と、

前記第 1 軸部よりも前記ガラス部材側に配置され、前記第 1 方向と直交する第 2 方向の大きさが前記第 1 軸部よりも大きい第 2 軸部と、を有し、

前記第 1 軸部は、放電ランプ取り付け装置に挿入されるとともに、前記第 1 軸部の表面の溝部又はその表面自体と、前記放電ランプ取り付け装置の間に冷却用媒体を流す流路を形成する、放電ランプ。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の放電ランプにおいて、

前記流路は、前記冷却用媒体を前記第 1 方向に流す流路である、放電ランプ。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の放電ランプにおいて、

前記第 1 口金部材は、

前記第 2 軸部と前記第 1 口金部材の開放端との間に設けられ、

前記第 2 方向に関する外形形状が前記第 1 軸部よりも小さい形状を有する第 3 軸部をさらに有する、放電ランプ。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の放電ランプにおいて、

前記第 1 軸部の前記第 1 方向の長さは、前記第 3 軸部の前記第 1 方向の長さよりも長い、放電ランプ。

## 【請求項 5】

請求項 3 または請求項 4 に記載の放電ランプにおいて、

前記第 1 口金部材は、

前記第 2 軸部と前記第 1 口金部材の前記開放端との間に設けられ、

前記第 2 方向に関する外形形状が、前記第 1 軸部より小さく、

かつ前記第 3 軸部より大きい形状を有する第 4 軸部をさらに有する、放電ランプ。

## 【請求項 6】

請求項 5 に記載の放電ランプにおいて、

前記第 1 軸部の前記第 1 方向の長さは、前記第 4 軸部の前記第 1 方向の長さよりも長い、放電ランプ。